

事業コード	H16-農-新-2		区分	国庫補助・県単独
事業名	担い手育成基盤整備事業(平地型)		部局名	農林水産部
事業種別	補助事業(ほ場整備事業)		課室班名	農山村振興課 (tel)018-860-1855
路線名等	雄物川町		担当課長名	川原 幸徳
箇所名	会塚地区		担当者名	主幹(兼)班長 清野 弘久
総合計画との関連	政策コード	N	政策名	豊かな自然と調和した個性あふれる農林水産業の振興
	施策コード	4	施策名	新時代に躍動する多様な農業経営体の育成
	目標コード	5	施策目標名	(立地条件に応じた生産基盤の整備)農業生産基盤の整備 ほ場整備率

1. 事業の概要

事業期間	H17~H22(6年)	総事業費	19.24 億円	国庫補助率	50%		
事業規模	区画整理A=153ha (戸数 143戸)						
事業の立案に至る背景	<p>雄物川町での畑作生産額は全県トップクラスである。本地域では、西瓜と枝豆の特産化による高い畑作収益を背景に、JA等と一体となった複合経営強化、優良品種による良質米の計画的な低コスト生産、農地の流動化による意欲ある経営体への農地利用集積の必要性等を強く実感し、稲作偏重経営からの脱却を図るために周辺では最後となるほ場整備要望につながった。</p> <p>また、当地区は秋田県の穀倉地帯である平鹿平野の西部に開けた平坦な10a区画の団地である。農道は幅員2m程度で作業効率が非常に低い他、用水排水兼用の土水路であり法面崩壊を起こしやすく、泥上げや雑草除去の維持管理に難渋しており営農条件は劣悪である。</p>						
事業目的	<p>農地の大区画化、道路・用排水路の整備等により、農作業時間の短縮、営農経費の縮減を図る。農地の流動化を促進し、効率的な農業生産体制を構築する。</p> <p>担い手を育成(13人)し、経営基盤の強固な農業者を確保する。</p> <p>汎用水田を創出し、多様な営農形態(特産品である西瓜の安定的な産地化、収益性の高い枝豆等を導入した複合経営等)に対応する。</p>						
事業費内訳	(単位:千円)						
事業内容		全体	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度以降	
	事業費	1,924,000	20,000	200,000	600,000	1,104,000	
	経費内訳	工事費	1,634,000		150,000	510,000	974,000
		用補費					
		その他	290,000	20,000	50,000	90,000	130,000
	財源内訳	国庫補助	962,000	10,000	100,000	300,000	552,000
		県債	385,000	4,000	40,000	120,000	221,000
その他		384,800	4,000	40,000	120,000	220,800	
一般財源		192,200	2,000	20,000	60,000	110,200	
事業内容		全体実施設計	区画整理工 A=15ha	区画整理工 A=50ha	区画整理工 A=88ha		
調査経緯	<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度 基礎調査(調査費5,000千円~県費2,500千円、地元2,500千円) 平成16年度 農業農村整備実施計画調査(調査費6,000千円~国費1,500千円、県費2,100千円、地元2,400千円) 						
上位計画での位置付け	「新時代に躍動する多様な農業経営体の育成」を支援する事業						
関連プロジェクト等	国営かんがい排水事業 平鹿平野地区(H13~24) 10,041ha						
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> 米価の低迷、転作の拡大、農産物輸入による国産野菜の価格下落等が進展するなか、多様な消費者ニーズに対応した農産物の供給等が求められており、一層の農業生産コストの縮減を図ると共に、地域の担い手を育成し、地域間競争に耐えうる足腰の強い農業生産体制を構築する必要がある。 						
事業効果把握の手法	指標名	評価箇所における担い手等が経営する面積割合		データ等の出典	基盤整備関連経営体育成等促進計画書		
	指標の種類	成果指標		把握の時期	16年 7月		
	指標式	地区内の担い手の経営面積÷ほ場整備地区面積					
	目標値a	55%					
	実績値b	22%					
	達成率b/a						

2. 所管課の1次評価

(会塚 地区)

観 点	評価の内容(特記事項)	評価点
必 要 性	<p>○本事業の目的は、本県農業の根幹をなす水田の整備が推進されることによる担い手農家の育成であり、県の積極的主体的関与が必要。</p> <p>○区画と農道が狭小なため、非効率な営農を強いられている。また、用排水路が土水路であるため、維持管理にも苦慮している。これら諸課題を総合的に解決する手段としては、ほ場整備事業が最も妥当。</p> <p>○雄物川町より要望が出されており、調査計画に対する費用についても負担している。</p> <p>○各種アンケートから安全安心かつ安く新鮮な県産品の消費に応える生産条件を整備し、農地の集積及び経営規模の拡大による生産コストの低減が県民ニーズの支柱である。</p>	18点
緊 急 性	<p>○生産性の高い農業の実現が求められているなか、雄物川町では、農地の集積・生産組織や担い手農家の育成を図るため、「ほ場整備」を最優先課題とし、農業農村整備事業の実施計画を取りまとめた事業管理計画では本地区を最優先事業として位置付けている。</p> <p>平成17年度新規採択を目標に協議が行われ、換地の準備、将来の営農の基礎となる区画の検討がなされるなど、受益者の事業に対する意欲は非常に高い。</p> <p>小規模農家が多いうえ、ほ場条件により作業効率も低いことから、後継者難が深刻化しており、ほ場整備を契機に地域の担い手を早急に育成し、高付加価値作物である西瓜・枝豆等の転作が可能とする。</p>	20点
有 効 性	<p>○区画を拡大することによる営農経費の節減</p> <p>○用排水路の整備による維持管理費の節減及び汎用農地の創出</p> <p>○農地の集積により担い手を育成(13人)し、耕作放棄、農地かい廃の防止</p> <p>○本地区実施により、地域の担い手を育成することは、21総合計画の「新時代に躍動する多様な農業経営体の育成」に合致する。</p>	18点
効 率 性	<p>○単収増加効果、品質向上効果、営農経費節減効果、維持管理費節減効果、更新効果等の効果が見込まれ、10aあたり事業費は、国が示す指標の200万円を下回っている。</p> <p>投資効率 1.53</p> <p>○設計及び実施時において、画一的(標準的)な基準にとらわれず、地形条件に応じた区画形状、用排水路の配置の他、再生砕石の利用等具体的なコスト縮減計画を樹立し、より効率的な事業を実施する。</p>	20点
熟 度	<p>地域営農のあり方について集落ぐるみで協議を続けており、ブランド推進6品目である西瓜と枝豆導入も具体化しておりその実現に向けて雄物川町役場、JAおものがわ等の支援も受けている。</p> <p>ほ場整備の区割りや配置、完成後の受委託構想にも積極的に参画し、事業への取り組みが主体的である。</p>	18点
判 定	<p>ランク (○)</p> <p>有効性や熟度がやや低いものの、関連事業等の実情から緊急性・効率性が高く、総合的な評価点は高い。</p>	94点
総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>地域での畑作導入による自立志向や現在のほ場の実状に加えて、積極的な営農展開が期待できることから本事業を実施すべきと考える。</p>	

3. 総合政策課長の2次評価

4. 財政課長意見

総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>担い手の育成を図り、農地の利用集積を促進し、国営かんがい排水事業との連携による効率的な基幹水利施設の整備などを進めるもので、効率的、安定的な農業経営の実現を図る事業であることから、実施は妥当と考える。</p>
------	---

意見内容	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>当該地区は、事業費単価が1,259千円/10aと安いことに加え、国営かんがい排水事業との連動性が認められるため、一定の事業効果が認められる。</p>
------	---

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>事業実施は妥当である。</p>
------	--

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

<ul style="list-style-type: none"> ・当該箇所を国に新規要望する。 ・事業実施に当たっては、コスト縮減に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

<p>県の評価および対応方針を可とする。</p>

別表6(1)

公共事業箇所評価基準

評価種別

新規箇所

継続箇所

事業コード()

箇所名(会塚)

適用事業名

ほ場整備事業

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性					
	県関与の必要性	法令等で県が実施する事業		5	5	要綱・要領
		県が実施すべき広域的な事業		3		
		県が実施した方が望ましい事業		1		
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い		5	5	県民意識調査
		一般県民を対象とした調査でニーズを把握		3		
		一般県民を対象とした調査を行っていない		1		
	社会経済情勢変化による需要変化	増大している		5	5	農林水産統計情報
		特に変化はない		3		
		低下している		1		
	労働生産性の現状	未整理地域である		5	3	
		10a(一部20a含む)区画であるが、農道の殆どが狭い		3		
上記以外			1			
計				20	18	
緊急性	事業未実施の影響					
	周辺への影響	事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい		5	5	
		事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい		3		
		事業効果や効率性、周辺への影響等はない		1		
	受益者の高齢化状況	60歳以上の耕作者が40%以上であり、後継者不足である		5	5	64.0%
		60歳以上の耕作者が30%以上40%未満であり、後継者不足である		3		
		60歳以上の耕作者が30%未満		1		
	排水不良状況	地下水位が非常に高い。(30cm未満)		5	5	27.8cm
		地下水位が高い。(30cm以上~50cm未満)		3		
		上記以外		1		
他事業との関連						
他事業との関連	関連する他事業との調整で緊急性が高い		5	5	国営かんがい排水事業：平鹿平野地区	
	関連する他事業との調整で緊急性は低い。または他事業はないが、単独で十分な効果がある		3			
計				20	20	
有効性	上位計画への貢献度					
	あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い		5	5	
		施策目標に間接的に貢献する		3		
		施策目標とは別のその他関連事業である		1		
	期待される具体的効果					
	大区画化計画	1ha以上の区画が50%以上(中山間の場合、標準区画が30a以上)		5	5	54.5%
		1ha以上の区画が35%以上50%未満(中山間の場合、標準区画が30a以上)		3		
		1ha以上の区画が25%以上35%未満(中山間の場合、標準区画が30a以上)		1		
	農地集積計画	認定農業者等担い手への農地集積率が市町村目標より2割以上となる		5	3	63.9%
		認定農業者等担い手への農地集積率が市町村目標以上となる		3		
上記以外			1			
営農計画	飼料作物(麦・大豆等)の作付が地区面積の25%以上、又は奨励作物(野菜指定作物・メジャー作物等)の導入が図られる		5	5	24.2%	
	飼料作物(麦・大豆等)の作付が地区面積の10%以上25%未満		3			
	飼料作物(麦・大豆等)の作付が地区面積の10%未満		1			
計				20	18	
効率性	事業の投資効果					
	費用対効果	B/C=1.1以上		5	5	4,119,075/2,697,189
		B/C=1.1未満		3		
	事業実施コストの縮減					
	コスト縮減計画	具体的なコスト縮減計画がある		5	5	
		具体的な計画はないが、検討中		3		
	事業費単価					
	10a当たり事業費	県平均値より安い		5	5	1,259千円/10a
		県平均値より高い		3		
	基幹水利施設状況					
整備状況	用排水施設とも整備済み		5	5		
	用排水のいずれかの施設を当該事業で整備予定		3			
	用排水施設とも当該事業で整備予定		1			
計				20	20	
熟度	地元との合意形成の状況					
	同意状況	全員の同意が得られている		5	3	141/143=98.6%
		未同意者が存在するが、事業実施に支障がない		3		
		未同意者が存在し、円滑な事業実施に支障がある		1		
	事業推進体制	事業推進体制が整っており、協議を重ねている		5	5	
		事業推進体制が整備されている		3		
		上記以外		1		
	各種協議の進捗状況					
	進捗状況	必要な協議を了しており、基本的事項が確認されている		5	5	
		協議中であり、合意が得られる見込み		3		
未協議			1			
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮	対策を検討済み		5	5		
	対策を検討中		3			
計				20	18	
合計				100	94	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	94	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		